

目次

● ヒロシマ平和の灯のつどい (報告) 1
● 福島の女性団体が来広 (報告) 2
● 豪雨災害で被災した障害福祉サービス事業所へお見舞い (報告) 3
● 活動報告 3
● 広島市女性団体連絡会議 (ひろしまWENET) からのお知らせ 4

ヒロシマ 平和の灯のつどい (報告)

原爆犠牲者の追悼、そして核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現への願いをキャンドルの灯に託し、原爆死没者慰霊碑を中心に平和記念公園内を一周する「ヒロシマ平和の灯のつどい」は、ひろしまWENETと広島市の共催で毎年7月31日に開催しており、今年で16回目を迎えました。

今年は、広島市長の松井一貫さんが初めて参加され、挨拶の中でこの集いの意義にエールをいただきました。また、公益財団法人広島平和文化センター理事長の小溝泰義さんからは、平和市長会議から反核の動きが世界へ広がりを見せていると報告がありました。当日公園内で呼びかけた外国の方々も多数参加され、参加者は約130人となりました。



原爆死没者慰霊碑の前で合唱する参加者の皆さん



参加された外国人の方々



挨拶される松井市長

カザフスタンの伝統衣装を身につけた留学生、ボラトワ・シャリアットさんが「平和の灯」から採火し、参加者はその火を一人一人の手にあるろうそくに灯しました。ひろしまWENET会長の貴田月美は、就職、結婚など人生の節目々で「原爆にあってないだろうね。」という言葉浴びながら人生を歩んでこられた女性のことを例に挙げ、戦争が新たな差別を生むと挨拶。参加者全員で慰霊碑に深い祈りをささげました。

続いて、参加者は、核兵器廃絶と世界恒久平和が実現し、「戦争を知らない子どもたち」の時代が続くようにとの願いを小さな灯に込めながら、旧ソ連のカザフスタン核実験場閉鎖に向け人々が歌い続けた曲「ザマナイ」が流れる公園内を静かに巡りました。
(報告：学習部会 澤野道子)

福島市の女性団体が来広（報告）

8月5日、6日、ふくしま市女性団体連絡協議会の二人の方が昨年に引き続き広島に来られました。同会は福島市内の16の女性団体で構成されている、ひろしまWENETと同じような団体です。

5日は被爆69周年原水爆禁止世界大会広島大会の「女性のひろば」に参加され、被爆者の証言、福島の避難者からの報告の後、福島市の状況を大会参加者に訴えられました。その後、雨の中、原爆ドームや旧日本銀行広島支店の見学、平和記念公園内の慰霊碑巡りを行い、ひろしまWENET幹事5人と食事をしながら交流をしました。



原水爆禁止世界大会広島大会の「女性のひろば」での一コマ

交流の席でお二人は、「被災者への健康手帳の交付とともに、将来健康被害が現れた時のきちんとした治療の保障を要求している。東京電力福島第一原子力発電所の事故後の学習で、これまでの核実験や原発事故などで日本全国、世界が放射線に汚染されていることを学んだ。地元の新聞には福島県内と全国主要都市の放射線量が毎日、世界の主要都市の放射線量が週1回掲載される。それぞれの住宅は除染されているが、除染作業で出てきた汚染された土が庭に積んだままだと毎日見なくてはいけないので、自宅の庭に埋めてもらった。避難区域の住宅よりも避難先の方が放射線量が高い場合もある。今は子どもたちは外で遊んでいるが、保護者の要望でお祭りができない地域もある。食品の放射線量の計測は以前より簡単にできるようになり、今は自宅の庭でできた野菜を食べている。一番問題なのはいろいろな情報が住民に素早く知らされないこと。子どもたちの将来のことを一番に考えないといけない。」など福島市の現状を報告されるとともに、「充実した交流ができました。」と感想を述べられました。



交流会の様子

6日は2人で平和記念式典に出席され、広島を後にされました。

引き続き福島の皆さんに寄り添って考えていきたいと思えます。

(報告：広報部会 貴田月美)

豪雨災害で被災した障害福祉サービス事業所へお見舞い(報告)

8月20日未明に発生した豪雨災害で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

ひろしまWENETと交流している、ふくしま市女性団体連絡協議会の方々が、豪雨災害の被災者支援としてイベントなどでカンパに取り組み、そのカンパをひろしまWENETに託されました。また、ひろしまWENET幹事会でもカンパを集めました。

11月20日、ひろしまWENET会長の貴田月美と副会長の柳田裕美が、両方のカンパを社会福祉法人やぎ、障害福祉サービス事業所「八木園」に届け、お見舞いをしました。歌「八木園のテーマ」とソーラン節のダンスで歓迎を受けました。

障がい者の就労継続などを支援されている八木園は、安佐南区八木にありましたが、土砂で全施設が流されたため、14日間の休園を余儀なくされました。その後、仮施設2か所に分かれて一旦再開され、11月4日、広島県と広島市の支援を受け、安佐北区亀山南で本格的に再開されました。現在、通所者30人、職員10人が元気に作業をされています。

(報告：広報部会 貴田月美)



八木園でのお見舞いの模様

広島市議会女性議員との懇談会

6月19日に広島市議会女性議員とひろしまWENET会員で懇談会を開催しました。

女性議員は安達千代美さん、近松里子さん、中原洋美さん、馬庭恭子さん、村上厚子さん、米津欣子さん(50音順)の6人全員、ひろしまWENET会員は26人が参加し、広島市の抱える課題や女性への負担になっている事柄について意見交換しました。

最初にひろしまWENET会長の貴田月美が、「保育園入園の待機児童の状況や留守家庭子ども会の有料化、老人ホーム入所への待機など課題は多く、これらについて忌憚のない意見交換をしたい」と挨拶。議員の自己紹介の後、待機児童、学童保育、障害児保育といった子育て支援に関する問題、在宅介護への支援をはじめとする高齢者・介護に関する問題などについて、参加者から質問が出ました。そして、各議員から諸問題に対する取組状況のほか、「地域力やつながりが大切な時なので、システムとして地域力を育てなくてはならない」といった返答がありました。

諸問題が解決し、社会が良い方向に転ずる機会となるよう、来年度もこのような懇談会を開催したいと考えています。

(報告：啓発部会 山本紀子)

「第2次広島市男女共同参画基本計画」学習会

9月の広島市男女共同参画審議会で、「第2次広島市男女共同参画基本計画(計画期間2011~2020年度)」の2013年度における推進状況の報告がありました。

これを受け、ひろしまWENETでは、広島市市民局人権啓発部男女共同参画課長 今富雅夫さんからこの基本計画の2013年度における推進状況の説明を聞く、学習会を開催しました。

学習会開催日の10月21日、ゆいぽーとの会場には、各団体から17人が集まり、熱心に報告を聞きました。

各施策目標の達成を目指すため、計画期間の中間年である2016年の計画の見直しに向けた検討が今後始まるようです。各項目揃って目標達成ができるよう、見守っていききたいと思います。

(報告：広報部会 藤永雅子)



学習会の模様

広島市女性団体連絡会議（ひろしまWENET）からのお知らせ

～ 来年、ひろしまWENETは、設立20周年を迎えます ～

2014年度 ひろしまWENET 役員紹介

役職名	団体名	氏名
会長	I女性会議広島支部	貴田 月美
副会長	広島市公立保育園退職園長の会（ももくさ会）	松本 恵和
副会長	一般財団法人 広島母子寡婦福祉連合会	柳田 裕美
書記	2000+7・平和	横光 美里
書記	特定非営利活動法人 ひろしま女性NPOセンター未来	中嶋 典子
会計	広島市公立保育園退職園長の会（ももくさ会）	宮田 保江
会計	広島市公立保育園退職園長の会（ももくさ会）	保井 智子
監事	安芸コスモソソタクラブ	小島 千恵子
監事	広島市地域女性団体連絡協議会	中原 裕子
啓発部会長	アルコ・デ・ヒロシマ	山本 紀子
学習部会長	安芸コスモソソタクラブ	澤野 道子
広報部会長	広島市未来を考える女性の会	藤永 雅子

会員団体の新役員紹介

安芸コスモソソタクラブ 会長 井手下 美由紀

6月から会長になりました。よろしくお願いいたします。

国際ソソタ（本部アメリカ）は、1919年アメリカで女性の地位向上のために立ち上がった女性たちによって創設されました。私たちのクラブは、国際ソソタの一員として、チャリティーコンサート、バザー、講演会等を開き、女性の地位向上、女性や子どもたちへの暴力の根絶、平和の促進などの活動へ支援をしています。



DV防止セミナー

ひろしまWENET 20周年記念事業として開催します。

開催日：2015年2月14日（土）

場 所：ゆいぽーと（広島市男女共同参画推進センター）

テーマ：「DV被害者の自立支援に向けて」



前回のDV防止セミナーの様様

2015国際女性デーひろしま

日 時：2015年3月8日（日）

場 所：ゆいぽーと（広島市男女共同参画推進センター）

テーマ：「被爆70年 平和を守るのは私らよ ～行動せんにゃー変わらんよ～」

問合せ：ゆいぽーと（中区大手町五丁目） TEL 082-248-3320 FAX 082-248-4476

休館日 月曜日、祝日（月曜日の場合は直後の休日でない日）、12月29日～1月3日

WENET ニュース第38号 2014年11月

発行者 広島市女性団体連絡会議（広島市市民局人権啓発部男女共同参画課気付）

責任者 貴田 月美